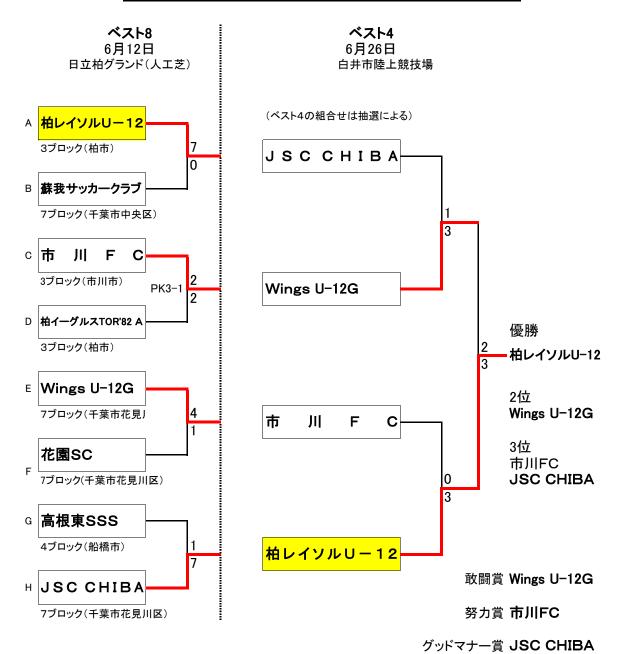
(平成23年度)

第35回全日本少年サッカー大会千葉県大会



※大会優秀選手(25名)

高坂 龍之介	ペガサスジュニアFC 1981	五十嵐 駿也	JSC CHIBA	田中 陸	柏レイソルU-12
				—	
山田 葵士	レイソルサッカースクール長生U-12	中川 創	市川FC	鯰田 太陽	柏レイソルU-12
石橋 尚	小中台FC ホッキョクグマ	森 大樹	市川FC	加藤 匠人	柏レイソルU−12
秋元 優作	FCきみつ M	榎本 啓吾	市川FC	朝倉 諒介	柏レイソルU−12
古川 祐太郎	蘇我SC	竹本 和生	WingsU-12 G	中村 駿太	柏レイソルU−12
有坂 翔耶	柏イーグルスTOR'82(A)	畔蒜 涼太郎	WingsU-12 G		以上
野澤 海飛	花園SC	佐々木 大樹	WingsU-12 G		
山口 慶悟	高根東SSS	渡辺 健太郎	WingsU-12 G		
越後 快	JSC CHIBA	土井 智和	柏レイソルU−12		
波多野 治郎	JSC CHIBA	岡本 宗馬	柏レイソルU−12		

[※]優勝チームは8月2日~8月6日、静岡県御殿場高原時の栖(ときのすみか)裾野グランドで行われる全国大会に出場しま 2位、3位の3チームは8月20、21日、栃木県那須塩原市で行われる第35回関東少年サッカー大会に出場します。

第35回全日本少年サッカー大会千葉県大会

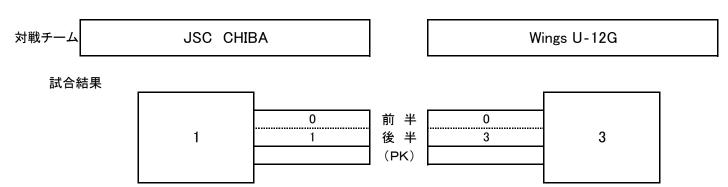
準決勝 第1試合

日 時 2010年 6月 26日(日曜日)

試合会場 白井市陸上競技場

気象状況 天候; くもり 気温; 湿度; 風力; ピッチ状況 天然芝

キックオフ 10時00分



戦評

立ち上がりから、中盤での激しいボールの奪いあいが行われた。最初にチャンスを迎えたのはJSC.前半3分、JSC7番波多野君がサイドを 突破し、10番五十嵐君にパス。五十嵐君がそのまま持ち込み、強烈なシュートを放つが惜しくもポストに嫌われる。その後も、6分にJSC11番 品川君が右サイドを突破でチャンスを作ったり、3番北島君がゴール前の混戦からシュートを放つもWingsの堅い守備にゴールを決めることが 出来ない。対するWingsも反撃に出る。10分に10番畔蒜君の鋭い縦パスを12番池内君がボールを受け、ミドルシュートを狙うもゴール横に 外れてしまう。その後は両チームにともにチャンスが来る。12分、JSC14番佐藤君がミドルシュート。こぼれ球を10番五十嵐君がつめてゴール を狙うがGKに阻まれる。15分、Wings9番佐々木君が右サイドを崩し、5番松野君へスルーパス。松野君がGKと1対1のチャンスを迎えるが、 狙い澄ましたシュートはポストに当たり、外れてしまう。その後も一進一退の攻防が続くが、前半はこのまま終了となった。準決勝という舞台 で緊張しているにも関わらず、お互い立ち上がりから集中力が高く、お互い中盤で激しいプレッシャーをかけ続けていた。 後半が始まっても互角の戦いは続く。後半2分、Wings8番渡辺君が5番松野君にスルーパス。GKと1対1もゴール枠外に外れてしまう。 3分、JSC7番波多野君のFKの早いリスタートから、10番五十嵐君がDFラインの裏へ抜け出すも、あと一歩のところでボールに届かない。 その直後も、JSC7番波多野君のミドルシュートを、WingsGK島貫君がはじいた所を、JSC10番五十嵐君がシュートを狙うが、再度島貫君の堅守に ゴールを奪うことができない。5分、Wings10番畔蒜君のスルーパスに5番松野君が反応するも、相手DFに阻まれる。7分には、8番渡辺君、 10番畔蒜君、5番松野君と流れるようなパスでJSC陣内に攻め入るもゴール手前でカットされる。Wingsもなかなかゴールを奪うことができ ない。そんな中、均衡が破れたのは、12分。Wings9番佐々木君がゴール中央でボールを受け、DF3人を鮮やかに抜き去り、GKを良く見て シュートを決める。反撃に出たいJSCも、10番五十嵐君、14番佐藤君、7番波多野君を中心に攻める。14分、JSC10番五十嵐君が、中央で DF3人をかわし、シュートを放つも枠の外に外れてしまう。続く15分にも、スローインから10番五十嵐君が裏へ抜け出すが、DFに阻まれチャ ンスを生かしきれない。JSCが猛攻をしかける中、Wings攻撃陣が前がかりになったDFの裏をつく。17分、Wings10番畔蒜君が中央でボール を受け、9番佐々木君にスルーパス。一度はGKに阻止されるも、7番竹本君がこぼれ球に鋭く反応し、ゴールを奪った。2点目も奪った直後 にも、10番畔蒜君のスルーパスに6番村松君が抜け出し、GKとの1対1を冷静に決めて、3対0とした。JSCも終了間際に、7番竹本君が1点 返すが、このまま3対1でWingsが勝利し、決勝にコマを進めることとなった。得点だけみるとWingsの完勝にみえるが、内容は 互角だったといえる。ただWingsの方が攻撃になった時に2~3人のグループで打開することが多く、ゲーム終盤になり体力的に疲労した時に 選手一人一人に体力的な余裕が生まれてたのではないだろうか。JSCの個での打開も非常に魅了的であったが、中央を固められ全員で粘る DFをされると、打開するのに大きな労力をつかっていた。

第35回全日本少年サッカー大会千葉県大会

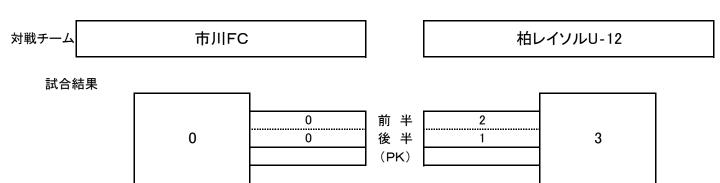
準決勝 第2試合

日 時 2010年 6月 26日(日曜日)

試合会場 白井市陸上競技場

気象状況 天候; 気温; 湿度; 風力; ピッチ状況 天然芝

キックオフ 11時00分



戦 評

試合開始から、柏レイソルのペースでゲームが進む。ほぼ9割、レイソルのボールを持っている時間で、市川FCはブロックを作り、相手を進入されないようにしていた。そんな中、レイソル18番中村君が中盤でボールを受け、自分でゴール前まで持ち込みミドルシュートを放つ。ボールはゴールの枠を外れる。7分にも、18番中村君がDF3人を引き連れペナルティエリア内に進入。ゴールを良くみてループシュートを放つも、ゴールラインぎりぎりで、市川FC26番森君がライン外に蹴りだしピンチを免れる。その後も18番中村君を中心にレイソルが猛攻を仕掛ける。市川FCも5番中川君を中心に必死の守りで相手の攻撃を食い止めるが、つい18分、均衡が破れる。柏レイソル8番鯰田君が中盤でボールを受け、少し離れた距離からゴールを狙い、素晴らしいロングシュートをゴールに突き刺した。その直後の19分にも、レイソル8番鯰田君が中盤で相手からボールを奪い、18番中村君へパス。GKをしっかり見て、落ち着いてゴールに流し込みゴールを決める。前半はこのまま2対0で終了した。立ち上がりは、ボールを保持しながらも、市川FCの懸命のブロックの前でボールをまわしているだけだったが、中盤以降は、18番中村君にパスが通る回数が増え、徐々にレイソルが市川FC陣内でボールを保持している時間帯が増えていった。市川FCも懸命の守りを見せるが、レイソルの勢いに押され、2点失ってしまった。

後半もレイソルペースで進む。5分、レイソル18番中村君が中央からミドルシュート。6分、レイソル11番朝倉君から、6番田中君、18番中村君と繋ぎ、シュートするも市川DFがブロックする。市川FCも、11分DFからの縦パスを受けた22番山下君がミドルシュート。5番中川君の直接FKなどで、ゴールを奪おうと試みるが、強固なレイソルDFを崩すことが出来なかった。その後一で勝利した。

試合開始から終了まで終始レイソルのペースだった。市川FCはグランドを広く使いながらボールを保持し、18番中村君を起点とした攻撃に、常に守備に追われることになった。レイソル18番中村君に対し、市川FC5番中川君がマークについたが、自分たちのボールを失った瞬間や、中川君が攻撃に参加した時などに、レイソル中村君をマークしきれない場面が多く、たくさんのチャンスを作られてしまった。

第35回全日本少年サッカー大会千葉県大会

決 勝 戦

日 時 2010年 6月 26日(日曜日)

試合会場 白井市陸上競技場

気象状況 天 候: 気 温: 湿 度: 風 力: ピッチ状況 天然芝

キックオフ 13時30分

対戦チーム Wings U-12G

柏レイソル U-12

試合結果

	0	前半	2	
2	2		<u>'</u>	3
		延長·後 (PK)		

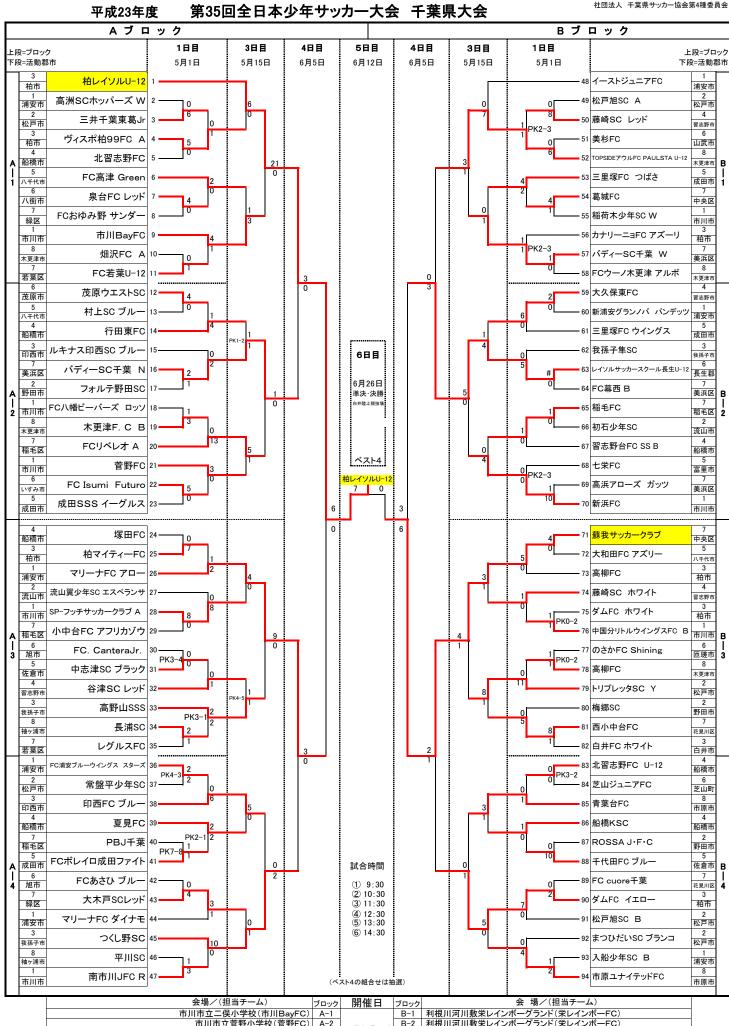
戦 評

少々小雨が降りしきる中、13時30分、Wings U-12 G(以下、Wings)対柏レイソル U-12(以下、柏レイソル)の決勝戦がkick offにた。Wingsのkick offで始まった決勝戦。Wingsが開始早々小刻みなパス回しからゴールへ押し込むがシュートまでいけず惜しくもゴールラインを割る。2分、柏レイソル⑪朝倉君のクロスを⑱中村君が合わせようとゴール前へ飛び込むが惜しくもゴールならず。ここから柏レイソルがボールを支配し多くのチャンスを作っていく。3分、柏レイソル⑭岡本君⑤加藤君を中心としたビルドアップから⑧鯰田君のクロス。⑱中村君の打点の高いヘディングシュートを放つが惜しくもゴール右へ外れる。5分柏レイソル⑱中村君のスルーパスから⑪番朝倉君へ。キーパーと1対1となった⑪朝倉君が落ち着いてゴール。待望の先制点が柏レイソルに入る。先制点後も柏レイソルの落ち着いたパス回しと崩しで次々とゴールを脅かす。7分、⑱中村君のクロスから⑪朝倉君シュート。惜しくも外れる。8分柏レイソル④岡本君のコーナーキックのこぼれを⑲中村君がシュート。惜しくもバーの上。立て続けにチャンスを作るレイソル(四本君のコーナーキックのこぼれを⑪中村君がシュート。惜しくもバーの上。立て続けにチャンスを作るレイソルに大きな決定機がやってきた。10分、レイソル⑪中村君の左からのドリブル突破から冷静にキーパーと1対1を決めて2対0とする。ゴール後も柏レイソルが⑩中村君⑪朝倉君を中心に攻めていく。負けじとWingsも⑦番竹本君を中心にパスを回し攻めていくがゴールならず。16分、柏レイソル④岡本君の縦パスから⑱中村君がWingsのディフェンダー3人突破、キーパーと1対1となるがこれはWingsゴールキーパー島貫君がナイスセーブ。このあとも柏レイソルが優位に試合を進めていくがここで前半終了となる。

後半、柏レイソルボールでkick off。2点のビハインドを取り戻そうとWingsが前線から厳しいアプローチでボールを奪いに行く。21分、ボールを奪ったWings⑩畔蒜君からのおとしを⑧渡辺君がミドルシュート。これが決まり1点差に詰め寄る。しかし、柏レイソルもすぐさま反撃。丁寧なビルドアップから右サイド⑥田中君の浅い位置からのクロスを2列目から飛び出した⑩落合君のゴールで再び2点差とする。冷静さを取り戻した柏レイソル。4分、6分、9分と柏レイソル⑱中村君が決定機を生むがゴールならず。11分には柏レイソル⑧鯰田君のコーナーキックから④岡本君のヘディングシュート。これも惜しくも枠の外へ外れる。中々追加点が取れない柏レイソルに対しWingsが反撃にでる。12分、⑪濱松君の突破からシュート、惜しくも外れる。16分、Wings⑥村松君のコーナーキックから⑪濱松君のゴールで再び1点差と追いつめる。この後も必死に攻めるWingsと必死に守る柏レイソル。そして20分、試合終了のホイッスルが鳴り響く。柏レイソルが全国大会への出場を決めた瞬間であった。

本大会から8人制サッカー大会となり個々の力及びチームの力というのが顕著に出たのではないでしょうか。また、コートが狭まった分、息の抜けない時間が多く、交代含めた監督の采配も光ったと思います。

大会を通じて全力で戦う姿勢やリスペクトの意思が表現されていた。これは非常に大切な事であり理屈だけではどうにもならない心の部分というのを垣間見れて嬉しく思っております。全国大会に出場する柏レイソルの活躍を期待して終わりとさせていただきます。



会場/(担当チーム)	ブロック	開催日	ブロック	会 場/(担当チーム)
市川市立二俣小学校(市川BayFC)	A-1	A-2 A-3	B−1	利根川河川敷栄レインボーグランド(栄レインボーFC)
市川市立菅野小学校(菅野FC)	A-2		B-2	利根川河川敷栄レインボーグランド(栄レインボーFC)
我孫子少年サッカー場A(高野山SSS)	A-3		B-3	江戸川河川敷主水サッカー場(A) (トリプレッタFC)
我孫子少年サッカー場B(つくし野SC)			B-4	江戸川河川敷主水サッカー場(B) (まつひだいFC)
日立柏グランド・人工芝 (柏レイソルU-12)			B1,B2	江戸川河川敷主水サッカー場 (イーストジュニアFC)
利根川河川敷栄レインボーグランド(栄レインボーFC)	A3,A4		B3,B4	船橋市立薬円台小学校(高柳FC)
日立柏グランド・人工芝(柏レイソルU-12)	A-B	4日目(6月5日)	A-B	日立柏グランド・人工芝(柏レイソルU-12)
日立柏総合グランド・人工芝 / ベスト8 (6月1	2日)	5日目 6日目	(6月2	26日) 準決・決勝 / 白井市陸上競技場

